



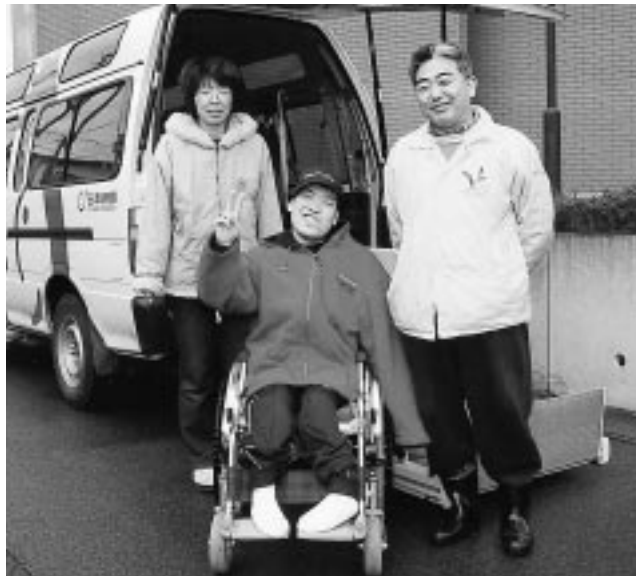
秋田ボランティア協会  
菅原雄一郎さん

## 移動することは、 生活の基本です

移動介助サービスは、様々なボランティア活動がある中で、基本となる部分のひとつだと認識しています。病院に行ったり、食事の買い物をしたり、家の中以外での生活をしようとする、必ず移動が伴いますから。

秋田ボランティア協会では、この移動サービスに365日24時間に対応しています。これは全国でも珍しく、それだけ利用者のニーズも多様化している証拠なのでしょう。

利用者の中には、お酒を飲みに行きたい人、旅行をしたい人もいます。楽しむことも生活の一部ですから、障害があってもいろんな生き方があるはず。利用者の多くは重度の障害のある人ですが、外に出かけ、生き方の選択肢を増やすことに挑戦することは大切なことだと思います。私たちは、そんな環境づくりに車2台をフル回転させてお手伝いしています。



乗り降りは電動なので簡単にできます

秋田ボランティア協会が行っている移動介助サービス。障害のある人や寝たきりのお年寄りでも外出できるようにと、二十年以上にわたって続けているサービスです。

この日は、車椅子で生活している武藤正義さん(七十二歳を、新屋勝平台的の自宅から土崎にある小規模作業所「やすらぎの家」までの送り迎えをしました。

「以前はタクシーを利用していましたが、誰かが付き添わなければいけません。その点このサービスは係のかたがいますし、料金も比較的安いのでよくお世話になっています。外出するようになって、私たち親子も救われた感じが

します。楽しい行事にも参加できるし、悩みを相談できるお友だちにも出会えました」とお母さんの恵子さん。外出するようになって、孤独感がなくなり、社会で生きていく実感がわいてきたと話します。

障害者のための移動サービスは、各タクシー会社でも行っています。が、二十四時間体制で対応できるのは秋田ボランティア協会だけです。協会のサービスを利用するには、事前に会員になる必要があります。入会金と年会費がかかります。一回の利用料はガソリン代程度で済みます。詳しくは、秋田ボランティア協会 ☎(835) 6670 へどうぞ。

## ボランティア

# 障害者のための移動介助サービス。 生活圏がグンと広がります

障害者プランを見直ししています

現在、市では、障害のある人を支援するための総合計画「秋田市障害者プラン」の見直しをしています。

このプランは、平成九年度に策定されたものですが、社会状況の変化などにより、事業の内容や方向性、計画の目標値を再度検討することにしたものです。

新しいプランは、平成十四年度から平成十七年度までの四期間を計画期間としています。基本目標は、障害のある人が人生のすべての段階において、完全参加と平等を実現することです。

特に、WHO(世界保健機構)の二十一年ぶりの国際障害分類の改訂を受け、これまでマイナスのイメージでとらえがちな「障害」を、特別視しないでとらえることにしたのがポイントです。障害はひとつの「個性」であるとし、障害があっても積極的に「活動」すること、「社会参加」することが可能であるという視点に立っています。そして、これらを補完する意味で周囲の「環境」を整えていくことにも配慮します。

新しいプランは、年明け三月に公表の予定です。